

てんき あらわ ぎおんご ぎたいご
天気を表す「擬音語・擬態語」

1. ①～⑨のことは「擬音語・擬態語」といって、音やようすを表すことばです。下のA～Iのイラストは、①～⑨の「擬音語・擬態語」を表しています。

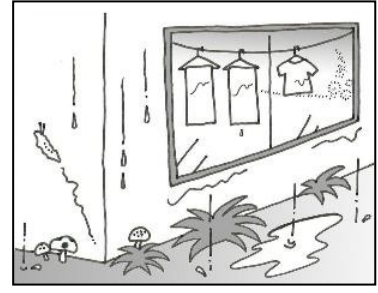
どのイラストがどの「擬音語・擬態語」を表していると思いますか？正しいイラストをえらんで、() の中にA～Iを書きましょう。

- ①しとしと () ②どんより () ③ぼかぼか ()
 ④じめじめ () ⑤びゅうびゅう () ⑥ざあざあ ()
 ⑦そよそよ () ⑧ぽつぽつ () ⑨むしむし ()

A

B

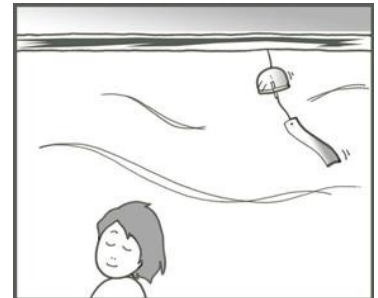
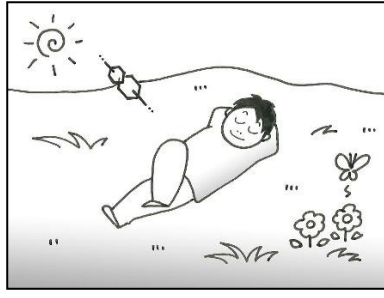
C



D

E

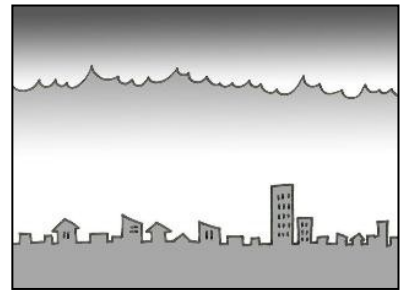
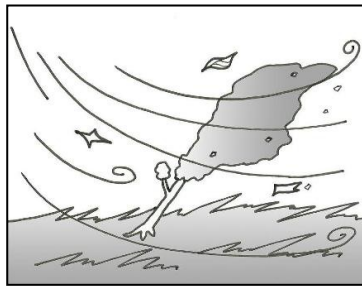
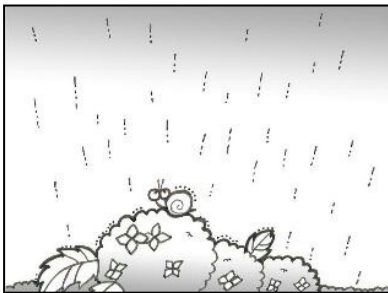
F



G

H

I



2. ①～⑨の「擬音語・擬態語」は、表すものによって、次の4つのグループに分けることができます。() の中に、①～⑨の「擬音語・擬態語」を書きましょう。

- (1) 風のふき方を表すもの : () / ()
 (2) 雨のふり方を表すもの : () / () / ()
 (3) 気温や湿度のようすを表すもの : () / () / ()
 (4) くもりのようすを表すもの : ()

3. 左の文に合う「擬音語・擬態語」を、右のa～hからえらんで（ ）の中に書きましょう。

- (1) 梅雨はかびが^は生えやすいです () a. むしむししています
- (2) 日本の夏は、湿度が^{しつど たか}高いです () b. しとしとふっています
- (3) ^{おお}大きな^{たいふう}台風が^き来ました！ () c. そよそよふいています
- (4) ^{きも}気持ち^{かぜ}いい風がふいています () d. ぽかぽかしています
- (5) ^{そら}空が^{くら}暗くなってきました () e. じめじめしています
- (6) ^{あめ}雨が^{あめ}ふりはじめました () f. ぽつぽつふってきました
- (7) ^{あめ}しずかな雨です () g. どんよりしています
- (8) あたたかくて^{きも}気持ち^{はる ひ}がいい春の日です () h. ^{かぜ}風は^{あめ}びゅうびゅう、雨は^{あめ}ざあざあ

4. 2の(1)～(3)のグループの中からそれぞれ1つずつ「擬音語・擬態語」をえらんで、
例文を作ってみましょう。

- (1) () : ()
- (2) () : ()
- (3) () : ()

5. あなたが好きな天気は何ですか。きれいな天気は何ですか。それは、どうしてですか。

□の中の会話パターンを使って、話しましょう。

A : _____さんは、どんな^{てんき}天気が好き／きれいですか。

B : _____が好き／きれいです。

A : どうしてですか。

B : _____からです。

A : _____のとき、何^{なに}をしますか。

B : _____たり、_____たりします。

<会話例>① A : Bさんは、どんな天気が好きですか。

B : はれが好きです。

A : どうしてですか。

B : ぽかぽかして、気持ちがいいからです。

A : そうですか。はれのとき、何をしますか。

B : ええ…、友だちと公園へ行ったり、洗たくをしたりします。

② A : Bさんは、どんな天気がきれいですか。

B : そうですね…。雨がきれいです。

A : どうしてですか。

B : むしむしして、とても暑いからです。

A : そうですか。雨のとき、何をしますか。

B : うちで本を読んだり、友だちの家に遊びに行ったりします。